

委託事業実施内容報告書

平成20年度地域日本語教育支援事業【日本語教室設置運営】

受託団体名 国際交流の会 とよなか

1 事業の趣旨・目的

日系人等を活用した日本語教室の設置運営

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
8月1日	岡田 奥田 葛西 村上 衛藤 島本	広報 授業のレベル 補助者の動き・仕事分担(部屋の予約)等	今までと違い、テキストや補助教材を置かせてもらえるところがない。コピー機が施設内にない等の対応について
8月31日	岡田 奥田 村上 衛藤 島本	広報	研修生のいる地元の企業・小中学校へプリントを宣伝・配布活動
11月2日	岡田 奥田 藺頭 村上 衛藤 島本	出席者への維持 教師へのレッスンの運び方について	試験後、参加者が少なくなる、あまりにレベル差の大きい時の対応等
2月8日	岡田 陳 奥田 島本 衛藤 村上 藺頭	半年間の反省・今後への展開	しばらくクローズすることに。

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)



3 日本語教室の開催について

日本語教室の名称 TIFA・ベトナム語&中国語による日本語教室

- ① 開催場所 豊中市立労働会館 とよなか国際交流センター
- ② 学習目標 日本語能力検定主に3級 その他のレベルは日本人補助者で対応

- ③ 使用した教材・リソース みんなの日本語 聴解タスク
- ④ 受講者の募集方法 チラシ、HP(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)
- ⑤ 受講者の総数 22 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑥ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 29 回)
- ⑦ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	8月31日	2	0名	————	教授者1名 補助者1名	広報について相談
②	9月7日	2	3名	中国国籍 中国語(3名)	教授者1名 補助者1名	発音、アクセント、イントネーション 場所を尋ねる会話
③	9月14日	2	2名	中国国籍 中国語(2名)	教授者1名 補助者1名	発音、アクセント、イントネーション 場所を尋ねる会話
④	9月21日	2	3名	中国国籍 中国語(3名)	教授者1名 補助者1名	買い物、五段動詞について
⑤	9月28日	2	1名	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	チラシを用いて値段の表現練習
⑥	10月5日	2	1名	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	文法について
⑦	10月12日	2	1名	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	文法について
⑧	10月19日	2	1名	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	文法について
⑨	10月26日	2	0名	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	聴解タスク 相談：税金
⑩	11月2日	2	0名	————	教授者1名 補助者1名	待っている間教授法を勉強する
⑪	11月9日	2	3	中国語・中国国籍 2名ペルー1名	教授者1名 補助者1名	基本文型、ドリル、技能試験
⑫	11月16日	2	3	中国語・中国国籍 2名ペルー1名	教授者1名 補助者1名	基本文型、ドリル、技能試験

⑬	11月23日	3	1	中国国籍 中国語(1名)	教授者1名 補助者1名	聴解タスク 相談:生活支援金
⑭	11月30日	3	3名	中国語・中国 国籍 2名ペ ルー1名	教授者1名 補助者1名	二つに分かれて、挨拶、 発音、その他相談(求人 広告の説明)
⑮	12月7日	2	5名	中国国籍 中国語(3名)	教授者1名 補助者1名	履歴書の書き方、面接の とき
⑮	12月14日	2	3名	中国国籍 中国語(3名)	教授者1名 補助者1名	プリント7枚 幼稚園用語その他相談
⑯	12月21日	2	0名	—————	教授者1名 補助者1名	待っている間教授法を 勉強する
⑰	1月11日	2	6名	中国国籍 中国語(6名)	教授者1名 補助者1名	第2課 文法重視 と上級は日本人対応
⑱	1月18日	2	6名	中国国籍 中国語(6名)	教授者1名 補助者1名	第2課 文法重視 相談他 後半TIFA 新年会へ
⑲	1月23日	2	8名	中国国籍 中国語(7名)	教授者1名 補助者1名	数字、助数詞、曜日、時 間、 TIFA日本語教 室と交流 相談他
㊦	1月31日	2	5名	中国国籍 中国語(5名)	教授者1名 補助者1名	*自己紹介4課 *単 語練習(先々週、先週、 今週、来週、さ来週、毎 週 を月、年に入れ替え て) *4課の文章を読み、そ の後、個別的にチェック した後、読めたところ で、基本文を使って質問 をし、答えさせる。*数 字を聞いてわかる、発音 できるための練習。*北 国の春、四季の歌をテー プに合わせ歌う(5分間 練習)
㊧	2月8日	2	5名	中国国籍	教授者1名	4課陳さんの指揮で読

				中国語 (5 名)	補助者 1 名	み合わせと練習、応用練習。 8 : 0 0 陳さんは男性の相談 (就職用) 島本が代わって残りの日本語指導 (主に練習と習った文型を使った自由会話)
㉓	2 月 15 日	2	8 名	中国国籍 中国語 (8 名)	教授者 1 名 補助者 3 名	第 5 課岡田先生が帰ってこられ、PC を使って、体を使っ方法で「北国の春」
㉔	2 月 22 日	2	1 名	中国国籍 中国語 (1 名)	教授者 1 名 補助者 1 名	第 6 課 数字 助数詞 年、月、時間などの表現
㉕	2 月 27 日	2	0 名	————	教授者 1 名 補助者 2 名	待っている間教授法を勉強する
㉖	3 月 8 日	2	7 名	中国国籍 中国語 (7 名)	教授者 1 名 補助者 2 名	第 6 課 日本の歌 : 相談 他
㉗	3 月 15 日	2	7 名	中国国籍 中国語 (7 名)	教授者 1 名 補助者 2 名	第 6 課 日本の歌 : 河の流れのように 相談他
㉘	3 月 22 日	2	3 名	中国国籍 中国語 (3 名)	教授者 1 名 補助者 2 名	第 7 課 聴解タスク 相談
㉙	3 月 29 日	2	2 名	中国国籍 中国語 (2 名)	教授者 1 名 補助者 2 名 教授者 1 名 補助者 2 名	第 7 課 聴解タスク 相談 他の日本語教室 紹介 茶話会

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	8 月 31 日	2	8 人	ベトナム国・ベトナム語 (8 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	自己紹介 日本語レベルチェック等
②	9 月 7 日	2	5 人	ベトナム国・ベトナム語 (5 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	第 26 課みんなの日本語・聴解タスク
③	9 月 14 日	2	6 人	ベトナム国・ベトナム語 (6 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	第 27 課

④	9月21日	2	6人	ベトナム国・ベトナム語（6人）	教授者1人 補助者1人	第28課
⑤	9月28日	2	1人	ベトナム国・ベトナム語（1人）	教授者1人 補助者1人	第29課
⑥	10月5日	2	4人	ベトナム国・ベトナム語（4人）	教授者1人 補助者1人	第30課
⑦	10月12日	2	5人	ベトナム国・ベトナム語（5人）	教授者1人 補助者1人	第31課
⑧	10月19日	2	3人	ベトナム国・ベトナム語（3人）	教授者1人 補助者1人	第32課
⑨	10月26日	2	5人	ベトナム国・ベトナム語（5人）	教授者1人 補助者1人	第33課
⑩	11月2日	2	2人	ベトナム国・ベトナム語（2人）	教授者1人 補助者1人	第34課
⑪	11月9日	2	2人	ベトナム国・ベトナム語（2人）	教授者1人 補助者1人	模試 合格できる3・4級日本語能力試験
⑫	11月16日	2	3人	ベトナム国・ベトナム語（3人）	教授者1人 補助者1人	模試 合格できる3・4級日本語能力試験
⑬	11月23日	3	3人	ベトナム国・ベトナム語（3人）	教授者1人 補助者1人	模試 合格できる3・4級日本語能力試験
⑭	11月30日	3	4人	ベトナム国・ベトナム語（4人）	教授者1人 補助者1人	模試 あなたの弱点がわかる！日本語能力試験
⑮	12月7日	2	0人	試験のため	教授者1人 補助者1人	教師の日本語に対する質問
⑯	12月14日	2	1人	ベトナム国・ベトナム語（1人）	教授者1人 補助者1人	第35課
⑰	12月21日	2	3人	ベトナム国・ベトナム語（3人）	教授者1人 補助者1人	第35課
⑱	1月11日	2	0人	—————	教授者1人 補助者1人	教師の日本語に関する質問

⑲	1月18日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	本冊聴解タスク第37課
⑳	1月25日	2	0	—————	教授者1人 補助者1人	開始後、欠席の連絡あり。
㉑	2月1日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第38課
㉒	2月8日	2	4	ベトナム国籍・ベトナム人（4人）	教授者1人 補助者3人	自由会話後、すぐに市民ネット祭へ参加文化庁日本語クラス生として歌と笛・ベトナム料理を豊中市民に披露
㉓	2月15日	2	0	0	教授者1人 補助者1人	人集めの工夫・日本語の質問
㉔	2月22日	2	0	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第39課
㉕	3月1日	2	1	ベトナム国籍・ベトナム人（1人）	教授者1人 補助者1人	第40課
㉖	3月8日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第40課
㉗	3月15日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第41課
㉘	3月22日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第41課
㉙	3月29日	2	2	ベトナム国籍・ベトナム人（2人）	教授者1人 補助者1人	第42課 今後について・茶話会

⑨ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。また、教室風景の写真を数枚添付。）



⑩ 支援者の名簿

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
岡田 勝美	YWCA	日本語教育能力検定試験合格	20回	アドバイザー兼補助
島本 真知子	国際交流の会とよなか	元中学校教諭・日本語教室ボランティア	10回 (広報など外回りに貢献)	アドバイザー兼補助
奥田 八重子	国際交流の会とよなか	日本語教室ボランティア	20回	アドバイザー兼補助
衛藤 ますみ	国際交流の会とよなか	元小学校教諭・日本語教室ボランティア	20回	アドバイザー兼補助
村上 自子	国際交流の会とよなか	渡日児童相談員	15回	アドバイザー兼補助

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

今回、4技能(読む・書く・聞く・話す)のうち特にオーラルでのコミュニケーション能力の向上に重点を置き、コミュニケーション的な活動を目指した。その結果、学習者の口頭での表現能力は一定の向上を見た。

② 学習者の習得状況

日本語能力試験を受験した学習者の結果はまだ把握できていないが、その可否とは別に実際の意思伝達技能は確実に伸びていると判断。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

教師側にもコミュニケーションなアプローチへの指向が定着し、今後の方向付けができた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

事前に会場の確保などについて行政に相談をしてみるのも良いのではないかな。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

- ・ 会場確保については無駄が出た。(途中での会場変更あり)
- ・ 学習者の出席が悪かった。
- ・ 中国教室は講師も学習者も夜がいいとのことでした。
- ・ 留学生と研修生を同じ催しに招く
- ・ 学習参加者が安定しない。スタート当初は盛況だったが、次第に少人数となり、能力試験を目指して熱心に取り組んでいた学習者も試験後はさらに減少。特にテストも重なって参加者ゼロの日もあり ゼロの日はアシスタントと講師で教授法などを教わる。

b. 今後の課題

- ・ 学習者の不安定な参加状況。
- ・ 教育委員会(公民館・少年文化館)や国際交流協会などの実施状況を把握し、重ならないようにする。
- ・ 補助者についても一定の予備知識として事前研修を実施する。
- ・ 実施期間中の補助者の当番を最初に決める。(途中での変更は可)
- ・ 中国教室とベトナム教室に一人ひとりの補助者が必要だと思った。
- ・ 実際に途中で色々な事業が入ると、学習者の出席が悪くなる。
- ・ 学習だけでなく、「楽しいこと」も入れて「来る事」を継続させる方法を考える。

c. 今後の活動予定, 展望

- ・ 会場を国際交流センターに移し、他のグループや市民との交流・接触の機会を広げることも考慮したい
- ・ 日本人の常識「無料で日本語が学習できる最高の機会」という思い込みは通用しないということが分かった。
- ・ 金融危機であらゆるところが波を被っている。研修生も時間外労働がなくなった。ここでその時間を日本語の勉強に使ってほしいと思うのですが。これはこちらの勝手な思い込みでしょうか。

- ・「相談」の時間をどのように確保し、応えていくか。

⑥ その他参考資料

人数も多くないときは、主たる目的を講師のレベルアップに置くことでこのプログラムの目的にも合うのではないでしょうか。

能力試験を終えて、次の目標を探しあぐねている人たちがいるとすれば、それをどう次のステップにつなげていくか。試験だけでなく、言葉を含めた日本文化への興味を持って楽しく参加する人たちを集めるのも広い意味でこのプロジェクトがめざしてもいいのかと……。そのための魅力的な計画も考えていきたい。